

「岩手県ふるさと振興総合戦略」…岩手県人口ビジョンを踏まえ、ふるさとを振興し、人口減少に立ち向かうための基本目標を定めるとともに、今後5年間の主な取組方向や具体的な施策、数値目標等を示すもの。

岩手県人口ビジョン

2040年及びその先の将来人口を展望

ふるさと振興の展開

人口減少を引き起こす、あらゆる「生きにくさ」を「生きやすさ」に転換し、岩手への新しい人の流れを生み出します。

ふるさと振興の3つの柱

① やりがいと生活を支える所得が得られる仕事を創出し、岩手への新たな人の流れの創出を目指します。

② 社会全体で子育てを支援し、出生率の向上を目指します。

③ 医療・福祉や文化、教育など豊かなふるさとを支える基盤の強化を進め、地域の魅力向上を目指します。

人口の展望が実現した場合の岩手県の姿

人口の展望

人口減少に歯止めをかけ、超長期的な人口増の可能性も視野に、2040年に100万人程度の人口を確保します。

○岩手で、子どもからお年寄りまで、あらゆる世代が生き生きと暮らす。
○県外とつながり、新しい発想に岩手があふれる。
○地方が主役になる日本の姿が岩手で実現する。

総合戦略（平成27年度～平成31年度の5か年）

3つの施策推進目標

岩手で働く

(1) やりがいと生活を支える所得が得られる仕事を創出し、岩手への新たな人の流れの創出を目指す施策

＜施策推進目標＞
若者の仕事や移住に関する願いに応え、県外への転出超過を解消する社会減ゼロを目指します。

■人口の社会増減(年間)
△2,975人(H26) → 0人(H32) ※1

＜H29実績値＞※2
△4,543人

岩手で育てる

(2) 社会全体で子育てを支援し、出生率の向上を目指す施策

＜施策推進目標＞
結婚や出産は個人の決定に基づくものであることを基本としつつ、若い世代の就労、出会い、結婚、妊娠・出産、子育ての願いに応え、出生率の向上を目指します。

■合計特殊出生率
1.44(H26) → 1.45以上(H31)

＜H28実績値＞
1.45

岩手で暮らす

(3) 医療・福祉や文化、教育など豊かなふるさとを支える基盤の強化を進め、地域の魅力向上を目指す施策

＜施策推進目標＞
岩手に住みたい、働きたい、帰りたいという人々の願いに応えられる豊かなふるさと岩手をつくりあげます。

■国民所得に対する県民所得水準のかい離縮小
93.3(H25速報値) → 93.4以上(H31)
※ 一人当たり所得水準(国=100)

＜H26確報値＞
94.7

総合戦略の展開(10のプロジェクト)

商工業・観光産業振興、仕事創出プロジェクト

- ・ものづくり・食産業等の振興による雇用の創出
- ・被災企業の再建支援による雇用の創出

農林水産業振興プロジェクト

- ・生産性・市場性の高い産地の形成、6次産業化の推進
- ・地域をけん引する経営体の育成、新規就業者の育成

ふるさと移住・定住促進プロジェクト

- ・全県的な推進体制の整備・移住情報の発信強化等
- ・相談窓口体制の強化・移住・交流体験の推進

就労、出会い、結婚、妊娠・出産まると支援プロジェクト

- ・子育てしながら働きやすい労働環境の整備
- ・出会い・結婚支援の強化
- ・妊娠・出産に対する支援

子育て支援プロジェクト

- ・子育てにやさしい環境づくり
- ・保育サービス等の充実
- ・子どもに対する医療の充実と子育て家庭への支援

魅力あるふるさとづくりプロジェクト

- ・被災した沿岸地域のにぎわいのあるまちづくりの推進
- ・地域づくりの担い手の育成・新たな担い手の確保
- ・公共交通の利用促進・水と緑を守る取組の推進

文化芸術・スポーツ振興プロジェクト

- ・文化芸術活動の活発化と支援体制の構築
- ・スポーツの振興による地域活性化の促進

若者・女性の活躍支援プロジェクト

- ・若者間のネットワーク構築の促進
- ・地域における男女共同参画の推進

保健・医療・福祉充実プロジェクト

- ・人材の確保・定着・育成・地域包括ケアシステムの構築
- ・がん対策・脳卒中予防・自殺対策

ふるさとの未来を担う人づくりプロジェクト

- ・「いわての復興教育」の推進・地域を担う「ひと」の確保・養成・生涯を通じた学びの環境づくり

※1 国の総合戦略において、東京圏の転出入者均衡に関する目標年次が2020年(H32)であり、国の取組と呼応しながら取り組んでいきます。

※2 社会増減:岩手県人口ビジョンにおいては、住民台帳基本法に基づく職権処理開始(昭和42年)前からの推移を見るため、職権処理修正を含めていません。(職権処理を含めた場合、H29実績値 △4,496人)